天栄村立広戸小学校 学校経営・運営ビジョン 2024

第７次福島県総合教育計画

1　学びの変革
2　学校の在り方の変革
3　多様性を力に変える土壌づくり
4　福島を生きる教育の推進
5　多様な学びの場づくり
6　安心して学べる環境の整備

県中教育事務所スローガン

「ゆめ」「願い」がかなう教育の推進

〈2024　学校経営の方針〉

①　知・徳・体の調和のとれた児童を育てる教育課程を編成し実施する。
②　学校・保護者・地域との連携を密にし、
　　安心・安全で開かれた学校づくりを一層推進する。
③　地域のひと・もの・ことの積極的活用を図り、愛村教育を推進する。
④　教育施設・環境の整備充実に努める。

天栄村基本理念

村はひとつ、学校は一つ、願いは一つ
地域コミュニティーを核とした天栄だからできる少人数教育

保護者の願い（学校評価より）

○　学力を高めてほしい
○　いじめのない学校にしてほしい
○　安全・安心な学校であってほしい

【学校教育目標】

知・徳・体の調和のとれた個性豊かな人間の育成をめざす

【知】　進んで学習する子ども

わかるできる授業により授業を充実させ、学び合いによる主体的な学習態度を育て、確かな学力の向上をめざします

数値目標

◎全国学テ、村学テで全国平均以上をめざします。
◎「学習が楽しい」という児童９０％以上をめざします。

具体的な取り組み

1　授業の改善・充実
- わかるできる授業、学び合いの工夫（授業スタンダードの活用）
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ＰＤＣＡサイクルを生かした指導方法の改善
- 思考力、判断力、表現力の育成（活用力育成シートの活用、言語活動の充実）
- 学力向上グランドデザインの実践
- 現職教育の充実による授業力の向上（全員による授業研究、互見授業の実施）
- ＩＣＴ機器の活用
- SDGｓの視点を意識した探求活動

2　学びの基盤づくり
- 読書活動の習慣化（図書館の積極的活用、朝の読書活動の実施）
- 学習内容定着の時間の確保(朝の算数タイムの実施)
- 家庭学習の習慣化（家庭学習スタンダードの活用、メディアコントロールの推進）

【徳】　思いやりのある子ども

道徳科の時間はもちろん、学校教育全体を通して道徳教育の充実を図り、豊かな心を育てます。

数値目標

◎いじめ・不登校の早期発見・早期対応。
◎「学校が楽しい」という児童１００％をめざします。

具体的な取り組み

1　道徳教育の充実
- 道徳科の指導の充実と教育活動全体を通しての指導
- QU テストの実施・活用
- 参観日における道徳の授業全クラス公開
- 「日本一なかのよい学校宣言」による実践

2　体験活動の充実（ふるさと教育）
- 地域学習の充実（栽培活動や自然体験活動の充実、農家や商店・施設などの地域の特色を生かした学習の充実）
- 縦割り班活動の充実（集団登校、清掃活動、児童集会）
- 交流活動の充実（異学年・他校園・地域）

3　教育相談の充実
- いじめや不登校の早期発見、早期指導の徹底
  （困りごとアンケート、教育相談の実施、教職員の情報の共有）
- 特別支援教育の充実
  （ＳＣやSSWの活用、支援学校との連携、校内研修の実施）

【体】　健康で明るい子ども

自分の命は自分で守るを基本に、健康安全についての実践力や健康・体力に関心をもつ児童を育てます。

数値目標

◎体力テストで全国平均以上をめざします。
◎「運動が好き」という児童９０％以上をめざします。
◎むし歯のない児童８０％以上をめざします。

具体的な取り組み

1　体力向上の充実
- 基礎体力の向上（年間を通しての各種運動の励行）
- 体育授業の充実（運動身体づくりプログラムの活用：掲示）
- 各種行事への積極的参加（運動会、持久走、なわとび）
- 日常においての自主的運動習慣の確立

2　健康教育の推進
- 「食育」の指導の推進（栄養教諭との TT 指導）
- 「歯磨き」指導の充実（養護教諭歯科衛生士との TT 指導）
- 「肥満傾向児童」の指導の充実(保護者との連携)
- 児童の健康保持と増進（早寝早起き朝ご飯、手洗いうがいの励行）
- 感染症感染防止対策の徹底

3　安全教育の充実
- 「自分の命は自分で守る」安全指導の徹底
- 危険回避能力の育成（避難訓練、自転車講習会、引き渡し訓練の実施、防災教育・放射線教育の充実）
- 定期的な集団登下校の指導（班長会議の開催）